

横浜市重度障害者(児)日常生活用具継続品目支給決定事務取扱要領

制定 平成 21 年 3 月 30 日健障福 2741 号（局長決裁）

改正 平成 23 年 3 月 31 日健障福 2833 号（局長決裁）

（目的）

第 1 条 この要領は、横浜市重度障害者(児)日常生活用具給付等事業実施要綱（以下「要綱」という。）第 3 条に基づき、要綱第 3 条に継続品目として定める気管孔用プロテクター、ストーマ用装具及び紙おむつ（以下「継続品目」という。）の給付事務に関して、要綱に定めるもののほか、必要な事項を定める。

（用語の定義）

第 2 条 この要領における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。

- （1）身体障害者 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条第 4 項の規定に基づく身体障害者手帳の交付を受けた者
- （2）ぼうこう・直腸機能障害者 ぼうこう又は直腸の機能障害により、身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条第 4 項の規定に基づく身体障害者手帳の交付を受けた者
- （3）ストーマ 消化管ストーマ（人工肛門）及び尿路ストーマ（人工ぼうこう）

（給付対象種目）

第 3 条 継続品目の給付は、月単位とし、継続的に給付することができるものとする。

- 2 ストーマ用装具、紙おむつの給付対象となる種目は別表 1 に定める。

（申請及び給付決定）

第 4 条 4 月から 9 月までを上半期、10 月から翌年 3 月までを下半期とし、給付対象者は、1 回の申請につき申請日の属する月（以下「申請月」という。）から申請月の属する当該半期の終了月までを申請できるものとする。

- 2 区長は、前項の申請に基づき、日常生活用具給付券（以下「給付券」という。）1 枚につき、最大で半期 6 か月分の支給決定をすることができる。
- 3 継続品目の申請及び給付決定は、申請月より以前に遡って行うことはできない。

（継続品目の受領）

第 5 条 継続品目の受領は、要綱第 7 条に基づき行う。

- 2 継続品目の受領について、給付決定を受けた者（以下「利用者」という。）及び継続品目取扱い事業者（以下「事業者」という。）の間で取決めがあるときは、分割して受領できるものとする。ただし、分割で受領する場合の給付券及び利用者負担額は初回受領時に引き換えるものとする。
- 3 事業者は、利用者が前項の規定により、分割で受領している場合に、利用者の死亡その他事由によりやむを得ず受領が中止されたときは、速やかに区長に申し出るものとする。

4 区長は、前項の規定により申し出があった場合は、給付の残月数等を勘案し、必要な処理を行うものとする。

第6条 この要領に定めるもののほか、継続品目の給付に関し必要な事項は、健康福祉局長が別に定める。

附 則

この要領は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

別表1

ストーマ用装具・紙おむつ給付対象種目一覧

品目	種目名	種目対象品
ストーマ用装具	蓄便袋	ワンピース装具・フランジ・パウチ
	蓄尿袋	ワンピース装具・フランジ・パウチ
	蓄尿バッグ	レッグバッグ ナイトドレナージバッグ
	補正剤	補正用皮膚保護剤 凸面リング(コンベックスインサート等)
	皮膚保護剤	ペースト・パテ・パウダー・ウェハー スキンバリア
	消臭剤	消臭パウダー・消臭フィルム 消臭液・消臭シート
	潤滑剤	潤滑剤
	凝固剤	凝固剤
	剥離剤	リムーバー
	ガス抜き用具	ガス抜きフィルター
	穴あけ用器具	専用ハサミ 専用カッター
	固定具	サージカルテープ 固定用ベルト・ストーマベルト 腹帯
	接続管	ウロ接続管・コネクター・接続用チューブ
	閉鎖具	ストーマ用装具用 クリップ・ストッパー
	洗腸用具	洗腸セット 洗腸袋 洗腸袋用クリップ 洗腸用ストッパー(ストーマコーン) 洗腸用フェースプレート 洗腸用チューブ 洗浄液バッグ
	入浴等補助具	ミニパウチ ストマキャップ ミニパッド
紙おむつ	紙おむつ	テープタイプ パンツタイプ フラットタイプ 尿取パット
	洗腸用具(注1)	洗腸セット 洗腸袋 洗腸袋用クリップ 洗腸用ストッパー(ストーマコーン) 洗腸用フェースプレート 洗腸用チューブ 洗浄液バッグ

(注1) 洗腸用具については、直腸機能障害者(児)で、皮膚のただれや二分脊椎等の理由でストーマ用装具の装着が困難な者に限る。